

## 令和5年度 NIE 実践報告書

### 新聞を活用した論理的思考力の育成

大田区立馬込中学校  
主任教諭 仁科 秀夫

#### 1. はじめに

本校は、中学1年生2学級、2年生3学級、3年生2学級の計7学級の中学校である。今年度より論理的思考力の育成を校内研究のテーマとし、NIE 実践校となった。その際、日本新聞協会 NIE コーディネーターである関口修司先生にコーディネーター兼講師として指導を仰ぎ、各教科での新聞を活用した研究授業、新聞社を招いて教員向け、生徒向けの研修、出前授業を実践してきた。

#### 2. 実践内容

①各教科での新聞を活用した研究授業の実践  
《7月5日 3学年研究授業》

● 英語「4コマ漫画のせりふを英語で考察」

4コマ漫画のせりふを英語で表現するためには、日本語の奥に隠れている本来の意味を読み取り、それを英語に直すために適切な表現方法を見つける必要がある。生徒は、せりふを読みながら、単純に英作文をする授業ではないと感じ取り、グループで文章に合った英文法を考察していた。



● 国語「報道文を比較して読もう」

同じ題材に対する異なった新聞社の文書を、同じ観点で比較する授業を行った。書き手の立場や意図によって表現方法が変わり、伝わり方が変わることを実感できた。

《12月6日 2学年研究授業》

● 数学「新聞のページ数の性質を文字式で表現」  
新聞のページ数に隠された様々な法則性を読み取り、それを文字式で一般化する。なぜそのような法則性になるのかを文字を使って表現することで論理的に説明できるようになる。生活の中の数学を扱うことは、世の中と数学との関りを感じ取れる良い機会となった。

● 理科「天気図をもとに気象要素の変化を予想」  
新聞の天気図をもとに、既習事項を活用しながら天候を予測する学習を行った。根拠を明確にして、論理的に予想を立てた。また、それをアナウンサー役と気象予報士役に分かれて発表した。

《2月7日 1学年研究授業》

● 理科「地震災害に備えるために」

新聞から様々な地震に関する情報を読み取り、まとめる。それをもとに、既習事項を生かしながら、それらに備えるためには何が必要か、という学習につなげる。

● 国語「根拠と意見から論理的な文章を作る」  
新聞記事から、文章の「意見」とその「根拠」を読み取る。そこから論理的な文章構成を学び、自分で実際表現する学習につなげる。

②新聞社5社による出張授業

「論理的思考力・創造的思考力を育むための言葉を紡ぎあう授業」をテーマに、新聞5社の記者の方々に、1、2年生の各クラスで授業を行っていただきました。



1-1に朝日新聞社、1-2に毎日新聞社、2-1に読売新聞社、2-2に産経新聞社、2-3に東京新聞社が来てくださり、2時間を通して、新聞の読み方、論理的な文章の書き方を実体験を交えてわかりやすくご指導くださった。また、各クラスのワークショップでは「友人の名前の由来を取材してみよう」というテーマで取材体験を行ったり、「中学校入学以来一番の思い出を記事にしてみよう」というテーマで新聞づくりをするクラスなど、様々な体験活動を通して、文章の楽しさや奥深さを感じ取れる大変貴重な時間となった。

#### 3. 取り組みの成果と課題

教員は、新聞記事の書き方に関する講義を通して論理的な思考や表現のあり方や指導に対する研鑽を深めることができた。

生徒は、現役の新聞記者を講師とした出張授業は、事実や自分の考えを論理的に記述したり、話したりすることの基礎を学ぶことができ、今後論理的思考力の向上が期待できる。また、より分かり易く伝える工夫や改善に役立ち、生徒会活動等の活性化が期待できる。

今後も継続して取り組むことで指導力や学習成果の定着を図り、本校の特色ある教育活動へと成熟させていく。